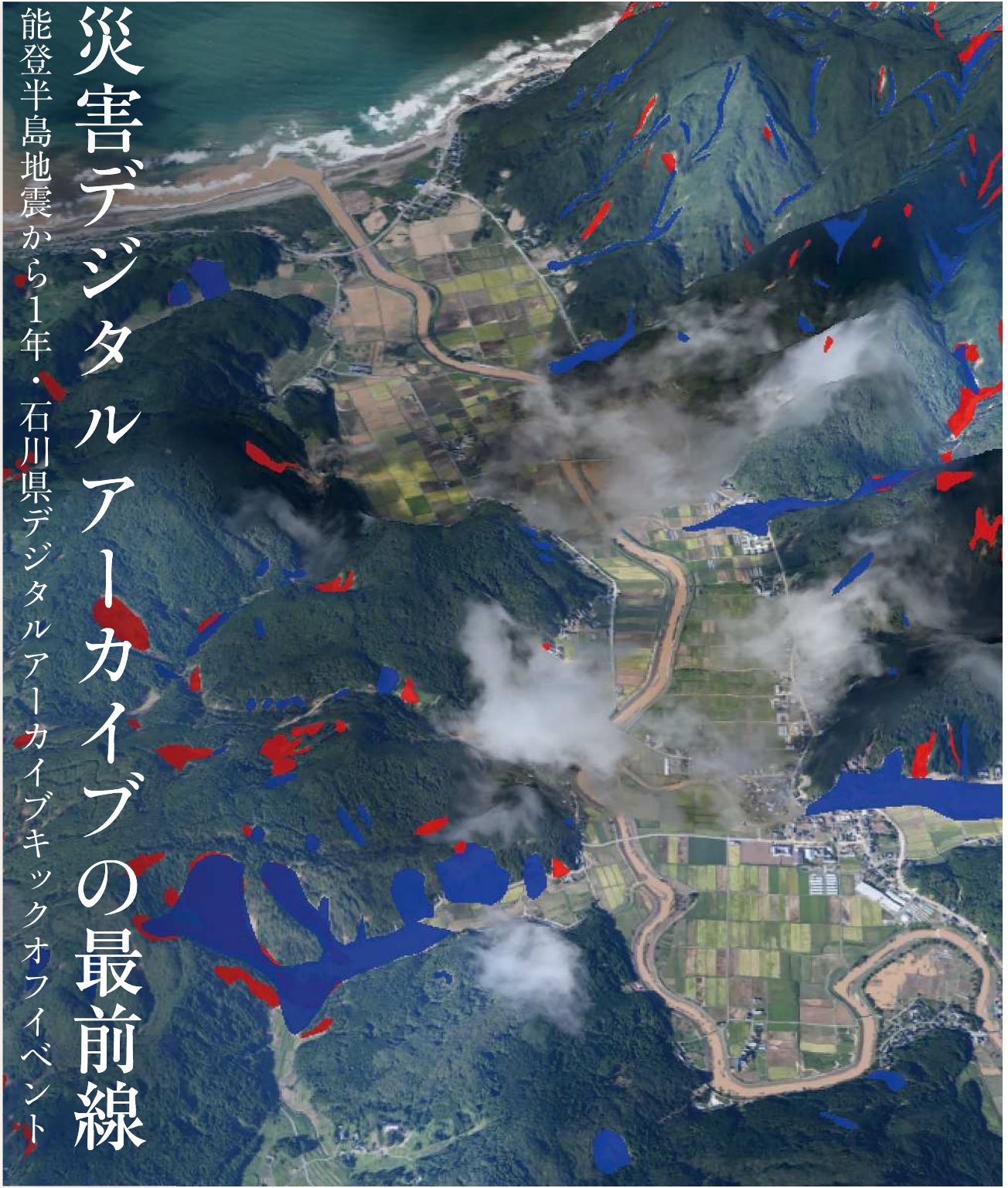


2025年 1月15日(水) 10:00—17:00



災害デジタルアーカイブの最前線

能登半島地震から1年・石川県デジタルアーカイブキットオフイベント

石川県立図書館

エントランス、だんだん広場、食文化体験スペース
石川県金沢市小立野2丁目43番1号

主催 東京大学大学院情報学環（渡邊英徳研究室、講談社・メディアドゥ新しい本寄付講座）
株式会社 QUICK（「共同研究 災害地域の多角的デジタルアーカイブの研究開発」、
東京大学大学院情報学環 渡邊英徳研究室、株式会社 QUICK）

後援 石川県、NHK 金沢放送局、読売新聞社（予定）

2025年1月には、阪神・淡路大震災から30年、そして能登半島地震から1年が経過します。

激甚災害は絶え間なく発生しており、災害の実相を記録し、未来の備えに活かす「デジタルアーカイブ (DA)」の重要性は高まっています。QUICK は 2024年8月に東京大学大学院情報学環の渡邊英徳研究室と共同で「災害地域の多角的デジタルアーカイブズの研究開発」を開始しました。

そして、石川県が構築を進める「能登半島地震アーカイブ (仮称)」が1月に公開される予定です。そこで、公開を記念し、今後の能登半島地震アーカイブの発展・活用の出発点となるイベントを開催することになります。本イベントは、東京大学・NHK の包括連携協定（東京大学創立 150周年記念事業）の一環として実施されます。



参加無料
ワークショップは事前に応募・登録が必要です

